

## 第3回あま市パートナーシップ条例(仮称)策定委員会会議録要旨

平成23年8月23日(火)

午前10時から午前11時50分まで

あま市役所本庁舎 2階 大ホール

### 1 出席者等

出席者等(委員)	13名
(市側)	4名
(傍聴者)	0名

### 2 議題

#### 1) 愛知県内の条例制定状況について

##### 【説明要旨】

- 前文については、豊明市のように市の特色を具体的に盛り込んだ条例もあれば、蒲郡市、豊田市、豊橋市及び犬山市のように前文がない条例もある。
- 定義の中で、大府市、知多市のようにコミュニティを区別している事例もある。
- 協働に関する考え方を基本理念で定めているが、岡崎市のように記載のないところもあれば、蒲郡市及び豊橋市のように簡潔に記載、知多市のように詳しく記載しているところもある。

#### 2) 第1回勉強会のまとめ

##### 【説明要旨】

- 条例は硬い文章が多く中身が分かりづらいので、分かりやすく解説がしてあるものを作成した方がよい。
- 条例の名称は、難しい文言を並べるよりも、見ただけでどんな内容のものかが分かる名称にしたい。
- 市民の定義は、住民だけではなく通学者及び通勤者も含めた方がよい。

#### 3) あま市パートナーシップ条例(仮称)のたたき台(各班でワークショップ)

##### 【発表要旨】

##### ① 条例の名称

- 原案のとおり
- あま市みんなでまちづくりパートナーシップ条例
- あま市パートナーシップ(協働)条例

##### ② 前文

- 下段最後の「豊かな自然を残し」の前に、「市民と行政が共に連携して」を加える。

- 原案のとおり。
- 旧町の具体的な歴史や文化を入れる。
- 市の特色、PRを入れる。
- 地域活動をされている主体を具体的に表記する。

③ 目的

- 原案のとおり。
- 「市民」の後に「NPO」を加える。

④ 定義

- 市の定義を入れる。
- まちづくりの定義を入れる。

⑤ 基本理念

- 市民が、積極的に協働事業に参加するという内容にする。
- 住み続けたいまちになるような文言を入れる。
- 人材、場所、資材、資金等は活動する上で必要であるため、明記をした方がよい。

【アドバイザー意見】

- 協働の重要性を前文に入れる。
- あま市の特色を出す。
- パートナーシップの定義を入れる。
- 活動に必要な人材、資材、資金等を基本理念に入れる。